

道」。看板によれば、このあたりはそう呼ばれているらしい。色鮮やかなサクラやツツジが目を楽しませ、木々の緑が目に見える。坂の向こうに橋が見えてきた。「環状夢の橋」。白い橋が青空によく映える。ちょっと足を止め、車の行き交う環状道を眺める。環状道の分離帯には、たくさんバラが咲き誇るのだそうだ。春は六月、秋は十月ころが見ごろらしいが、まだ少し時期が早い。きれいなバラを見にまた来てみよう。

白石サイクリングロードは、「環状夢の橋」で環状道と交差し、先に続いています。白く大きな二つのアーチが特徴的なこの橋の下、分離帯には、約四キロメートルにわたって四千五百株のバラが植えられ、「ローズアベニュー」と名付けられています。また、サイクリングロードは、沿線に区の花・バラやサクラ、ライラック、アジサイなども咲き、四季折々の花が、道行く人々の目を楽しませてくれます。

「夢の橋」を過ぎるとしばらくシラカバの並木が続く。木々の間を通り抜けていく風が少し汗ばんだ肌心地がいい。真つすぐに伸びるサイクリングロードを歩くうち、大きなビル工場が見えてきた。その敷地の間をサイクリングロードは通っていた。工場の南側の一角に、かつてこ

の地に鉄道の駅があったことを記す碑を見つけた。もともとサイクリングロードは線路だったのだ。ちょうどビール工場のある場所に月寒（つきさつる）という駅があったのだという。往時には、多くの人がこの場所から旅立ったり、汽車の到着を待っていたりしたのだろう。しばし、歴史の流れに思いをはせた。

白石サイクリングロードはもともと国鉄（現JR）千歳線の線路でした。昭和四十八年に現在の千歳線に線路が変更されて廃止となり、昭和四十九年に白石サイクリングロードになりました。現在は、残念ながら当時の面影を残すものはほとんど残っていませんが、アサヒビール株式会社（南郷通三丁目）のある辺りに月寒（つきさつる）駅が、白石東冒険公園（栄通一九丁目）のある辺りに大谷地駅がありました。



しばらく歩いてのどが渴いた。万生公園で一休みしよう。サイクリングロード沿いにあるこの公園には、トイレもあり、格好の休憩場所だ。持ってきたお茶ののどを潤すと心地がよかった。ベンチに腰掛けて、し

旧月寒駅跡地の碑（栄通四丁目）
平成三年にアサヒビール株式会社によって建立された。サイクリングロードの南側の小路を入ったところにある。駅名板を模したモニュメントが郷愁を誘う。



万生公園（南郷通八丁目南）
サイクリングロードの目の前にある公園。船の形をした大きな遊具が公園の真中にあり、夏には水遊びもできる。トイレあり。



あかつきサイクリングはし
橋の欄干のモニュメントが楽しい

